



2018年1月17日発行

2018年1月号(通算208号)

東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京センター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

TEL 042-577-6181 FAX 042-577-5574

【2017～2018主題】

国際会長 ヘンリー・J・グリーンハイム 「Let us all Walk in the Light-Together」
 アジア地域会長 Tung Ming Hsiao 「Respect Y's Movement」
 東日本区理事 栗本 治郎 「広げよう ワイズの仲間」
 あずさ部長 大野 貞次 「継続は力なり・一歩でも前に・そしてあがこう」
 東京武蔵野多摩会長 板村 哲也 「変化」

【クラブ役員】

会長 板村哲也
 副会長 大輪匡史
 宮内友弥
 会計 山口直樹
 書記 麻生由美子

I B C Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)、Seoul Han Yang Club(韓国)

D B C 神戸学園都市ワイズメンズクラブ

2018年

1月の聖句

ユダヤ人の王としてお生まれになった方は、どこにおられますか。わたしたちは東方でその方の星を見たので、拝みに来たのです。(マタイによる福音書2章2節 (日本聖書協会新共同訳より))

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利を伴う

五つの誓い

- 1.自分を愛するように隣人を愛そう
- 1.青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1.世界的視野をもって国際親善を図ろう
- 1.義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
- 1.会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

- 1.個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてYMCAの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す

1月例会プログラム

強調月間：D B C、I B C

日時：2017年1月13日(土) 12:30～

場所：しのめYMCAこども園
(グランチャ東雲1・2階)

* 1月例会は在京ワイズ新年会になります。

* 第二例会は、1月24日18:30～
東京YMCA西東京センターになります。

12月例会報告

在籍者	13名
出席者	11名
メーカー	1名
出席率	92%
ゲスト	-
ビジター	0名
ネット・メット	0名
にここ	-

新年を迎えて

山口 直樹

先日、地域で若者支援活動をしている方のセミナーに参加する機会があった。実際に引きこもりの若者を社会に復帰させている方の話であった。まず、「若者とは」との問いがあった。年齢(34歳まで、39歳まで等)もいくつかの定義がなされているそうであるが、キリスト教青年会(YMCA)に連なっているワイズは実年齢ではなく精神的な若者であると再認識した。

セミナーの副題は「子ども・若者の将来のために、いま家族と地域ができること」。子どもも含め、今生き方に戸惑っている若者たちに対して何ができるかを考える機会となった。大切なことは本人だけでなく、共にいる家族なども含めて気軽にかかわりが持てる居場所(ワイズも一つの在り方とおもう)をつまく造ること。本人がどのようなことを望んでいるかを感じ取ることであると思う。こちらが思い上がり、同じ地平に立てるかどうかが一つのポイントと感じた。対象となる年齢層の3%が引きこもりであるとの調査結果もあるとのことで、大きな社会問題との認識を改めてしたところであった。

ワイズとYMCAにとってここ数年は、組織維持・存続に危機感を覚えて、現状の変革に進み始めた期間であったと思う。新年を迎え、今年はその歩みをさらに前に進めてゆく年であると思う。特に地域の問題を考えたときに「居場所」がキーワードに思えてならない。居場所をテーマに考え活動することで、ワイズとYMCAが社会の中で存在感を示すことができればいいと思う最近である。様々なところでワイズの仲間たちがすでに実行されているが、わがクラブも前進していきたい。動きましょう。

2017年12月例会報告(日時：12月3日13時30分～)

クラブメンバー11名、ビジター、ゲスト、スタッフ、YMCAメンバーの参加者は合計97名でした。

今年も西東京センターのファミリークリスマスが、12月3日(日)13時30分より皆さんと東京YMCA医療福祉専門学校において行われました。

第一部は、中里さん司会で、礼拝、聖書朗読、讃美歌、そして、長山牧師から、皆さんに、解りやすいお話しがあり、子供達も、静かにお聞きしてました。第二部は、お楽しみの祝会です。オープニングセレモニー、そして、寸劇[カルロスと不思議な水晶]は、スタッフ、Teenリーダーが楽しそうに演じてました。皆さんに一番人気者は、生きているクリスマスツリーでは?中元さんの進行で子供達の楽しめるクイズや締めは、シジュウカラの絵本朗読が行われました。間に、ワイズ全員参加で、演芸トナカイとサンタの二人羽織、ケーキのクリームとお茶の溢しながら飲む姿が参加者全員の笑いを頂きました。クリスマス会の参加者全員が、幸せを感じる時間を共有出来た事に感謝します。(大輪 匡史)

健康増進カフェin国立（第2回）

日時：2017年12月9日（土）14:00～16:00

場所：東京YMCA西東京コミュニティーセンター

主催：NPO法人 多摩の医療健康増進フォーラム

共催：東京YMCA西東京コミュニティーセンター、東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

座長：江夏一彰氏（当クラブ会員、都立多摩総合医療センター検査科医長（口腔病理専門医））

テーマ：「生まれたときから・・・（世襲格差社会）」

参加者：全13名（当クラブ10名、非ワイズ3名）

当クラブの地域社会への働きかけを目指し今年度スタートした新たな取組。カフェは「病院・医者」と「患者・患者の家族」の間の垣根を低くすることを狙いとする少人数双方向型コミュニケーションの集いで、これまでNPO法人が府中で行ってきた。国立ではYとY'sが共催し開催することになり、第1回を2017年7月8日に開催。今回はその第2回目。

親世代の格差がそのまま子世代の格差へと受け継がれている現実（親の所得が高いと子供の所得も高くなり、親の所得が低いと子供の所得も低くなる）と、その理由が統計資料を用いて説明された。バブルの崩壊と男性非正規労働者の激増により2005年頃から格差の拡大が進行中。また日本政府のGDPに占める教育機関への公的支出はOECD加盟国（34カ国）中で6年連続で最下位。教育に取り残される子供が増えているのが現実。最後に「幼児期における政府の介入は、貧しい家庭に生まれた子供たちの、将来の生産性を大幅に高める可能性を秘めている。親の仕事や所得により、学力や職業が決まってしまう世界を開かれた社会へ再び押し戻すことは不可能なことなのだろうか。」「YとY'sが出来ることはないか？」との問題提起があった。当クラブで検討を進めていることを後押しされた内容であった。非ワイズの参加者は3名であったが、忌憚のない活発な意見交換が行われた。このカフェは今後も不定期に継続予定（次回日程未定）。

カフェ終了後近くの居酒屋でクラブの忘年会を開催。カフェに参加した非ワイズの飛び入りもあり。いつもながら盛会となった。（板村哲也）

<西東京YMCA便り>

出沼一弥

▼12月のプログラム報告

12/3	ファミリークリスマス 「にこにこ」12月例会 「ロビンソン」12月例会 「Teen S」12月例会	ファミリークリスマス ファミリークリスマス ファミリークリスマス ファミリークリスマス	子ども9名、大人44名 2名 14名 2名
12/9	0422クリスマス会		272名
12/22～24	わんぱくキッズ	対象：年 中～小学生	引率：廣瀬 5名
12/26～30	シーハイルキャンプ（池ノ平スキー場） オール東京ユーススキーキャンプ（スノパーク尾瀬戸倉）	対象：小学生～高校生 対象：中学生・高校生	引率：廣瀬 41名 引率：出沼 41名

▼1月の主な予定

1/14	幼児野外活動「にこにこ」1月例会 バスハイク 小学生野外活動「ロビンソン」1月例会 バスハイク 知的障がい児・者 余暇活動「あおぞら・つばさの会」1月例会
1/28	知的障がい児・者 余暇活動「シャベルズ・いずみの会」1月例会 中高生グループ活動「Teen S」1月例会

▼「私とY's」

本田桜子（さきゅー） 大学2年生 にこにこ（幼児グループ活動）所属リーダー
キャンプネームの由来：鳥取出身だから

Y'sの方とは、西東京フェスティバルや桜フェスなどの西東京コミュニティーセンターの活動を共に行ってきました。またY'sの方とは懇親会などで話し合う機会があります。先日の懇親会ではY'sの方の過去の経験からリーダーの楽しさを聞くことができました。このような話を聞くことができ、リーダーとしての活動がますます楽しみになりました。

また前回のユースフォーラムでは、大勢の人がいる中でも西東京センターのリーダーとして覚えてくださり、緊張していたわたしにはとても心強かったです。Y'sの方の支えがあるからこそ楽しく活動ができるということを実感しながら、これからもともに活動を楽しみたいと思いました。



12月からの予定

1月		2月	
・13日（土）	在京新年会	・10日（土）	評議会（甲府）
・24日（水）	第二例会	・14日（水）	第一例会
		・28日（水）	第二例会
		3月	
		・3、4日	次期会長研修会（東山荘）
		・14日（水）	第一例会
		・28日（水）	第二例会